

045 室町時代 室町時代の日朝関係

■高麗〔仏教が国教〕

前期倭寇による米・麦、人の略奪を防げず疲弊。
→武将の李成桂により、王位を篡奪されて滅亡。

■朝鮮 建国〔朱子学が国教〕

あ 初代国王 李成桂。
い 明の冊封体制。明の皇帝→朝鮮国王に冊封。
う 租庸調の調として、国庫に木綿を納めさせる。
え 廃仏政策と朱子学振興。
文明の中心を華、野蛮国を夷ととらえる。

■日朝貿易

あ 日朝貿易…『夷に恩恵を施すのが華だ』との朱子学思想により
滞在費・運搬費は朝鮮側が負担、至れり尽くせり。
釜山浦、乃而浦、塩浦の三浦に
日本人居留地を提供〔倭館〕し、接待も。
い 日本…貿易拡大希望
①室町時代の日本は銅の産出が激増、輸出相手を探していた。
②朝鮮の木綿や大蔵経が入手したい。
う 朝鮮…貿易制限希望
①倭寇対策で恩恵としてやってあげているだけ。
日朝貿易はやればやるほど朝鮮政府が損する。
②入港を釜山浦、乃而浦、塩浦の三浦に限定。
③対馬の宗氏に貿易管理させる。
朝鮮政府の発行する通信符と
対馬の宗氏の発行する文引を持った者だけに交易を許す。
え 宗貞茂が死去し、幼い宗貞盛に。十分取り締まらず。
1419年 朝鮮正規軍が対馬侵攻〔応永の外寇〕
朝鮮が謝罪し、将軍足利義持に大蔵経を贈って和解。貿易再開。

■日朝貿易の断絶

→朝鮮、日本人に恩恵として与えていた貿易を制限しようとする。不満高まる。
→三浦に住み着く恒居倭が、海賊と間違えられて斬られる事件。不満爆発。
→1523年に恒居倭が大暴動〔三浦の乱〕→国交断絶、貿易衰退。

045 室町時代 室町時代の日朝関係

室町時代の日朝貿易に関する説明として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

(明治学院大学 文・経済・社会学部 2020)

- ① 朝鮮は、倭寇対策として朝鮮に朝貢する諸国の王以外との貿易を認めない海禁政策をとった。
- ② 倭寇の活動が活発になったため、1419年に朝鮮が対馬を襲撃した刀伊の入寇がおき、貿易は一時中断した。
- ③ 日本側の貿易制限に対して三浦に住む朝鮮人が三浦の乱をおこしたため、貿易は衰退した。
- ④ 朝鮮から日本に木綿が大量に輸入され、衣料など人々の生活に大きな影響をもたらした。

室町時代の日朝貿易に関する説明として最もふさわしいものを、次のア～エの中から1つ選び、解答欄 30 にマークしなさい。(國學院 文・神道文化 2020)

- ア 日本使節の接待と貿易のための倭館は釜山のみに置かれた。
- イ 対馬の宗氏を介して通交した。
- ウ 貿易には勘合が用いられた。
- エ 朝鮮には生糸や木綿が輸出された。

中世における東アジア情勢の変動と日本の動向に関する以下の記述のうち、誤りを含むものはどれか。(成蹊大学 経営 2020)

- ① 南宋を滅ぼしたのち、フビライは弘安年間に日本に大軍を派遣した。
- ② 李成桂が朝鮮を建てたのち、日本に対して通交と倭寇禁圧を求めた。
- ③ 尚巴志が琉球王国を建てたのち、日本と琉球王国との間で貿易が開始された。
- ④ 15世紀におこった応永の外寇によって、日明貿易が中断した。
- ⑤ 16世紀におこった三浦の乱ののち、日朝貿易が衰退した。

正誤判定しなさい。(聖心女子大学 2020)

- X 日本からは銅や木綿などが輸出され、朝鮮から大蔵経や生糸などが輸入された。
- Y 朝鮮が倭寇の根拠地と考えた隠岐を攻撃した応永の外寇により日朝貿易は終了した。

- ア. X 正 Y 正
- イ. X 正 Y 誤
- ウ. X 誤 Y 正
- エ. X 誤 Y 誤